



学校だより

第10号ジャカルタ日本人学校
令和5年(2023年)1月31日
校長 緒方克行
TEL: 021-745-4130

末子配付

体力テストの結果を受けて

12月に行われました学校評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。子ども・保護者・維持会・教員からの結果を集計していく中で、この学校の弱みと強みが見えてきました。詳しい内容や分析については、添付された報告書をご覧ください。

今回は、学校評価アンケート結果と一緒に、体力テストの結果も掲載いたしました。これは、体力テストの結果から、多くの課題が見えてきたからです。学校評価アンケート結果からもわかるように、コロナ禍での体力の衰えを危惧する声が多く、12月に全校で体力テストを行いました。例年、5月に行われる取組ですが、本年度はタンゲラン市から体育授業の許可が下りたのが5月下旬であり、許可後すぐに行うことよっての怪我の心配があったのでこの時期となりました。現在の子どもたちの姿は、体育の授業が解禁になった当初より、明らかに日に焼け、校庭で元気に走り回って遊ぶ子どもたちが増えています。体もしっかりしてきたように見えます。しかし、結果を見ると多くが半年以上前の日本における記録を下回っています。特に年齢が上がるに従い、差が広がる傾向にあります。

在外教育施設に通う子どもは、日本に住む子どもよりも体力が弱いと言われています。日本ですと毎日徒歩で登校し、放課後も友達同士で公園や校庭に集まり、サッカーなどをして遊びながら毎日体を動かす機会を得ています。移動も電車やバスの公共交通機関による場所が多く、必然的に歩く機会が増えてきます。このように日本の生活と比較して考えると、本校の子どもたちは意図的に体を動かす機会を設けなければならないということになります。

学校では、体育の授業にて運動量を確保することに努めて参ります。ご家庭でも、運動の機会を是非作っていただき、学校と保護者でタッグを組み合わせながら子どもたちの健康維持を考えていきたいと思えます。共に南の島国に似合う元気な子どもたちを育てていきましょう。

【お知らせ】*****

令和4年度末で任期を終える教職員をお知らせします。

小学部

山本 政孝	足立 克巳
有田 知洋	石山 遼
国分 未里	崎田 瑠美
石川 身季	高木 秀樹
丸尾 悠介	横山 北斗
星 佑佳	西川 珠美
星野 元昭	

中学部

森 迪直
辻村 一将
飯岡 稜也
芳賀 美里
宮本 一輝

ランカ

石橋 敬子
中島 真理子
宮川 和彦

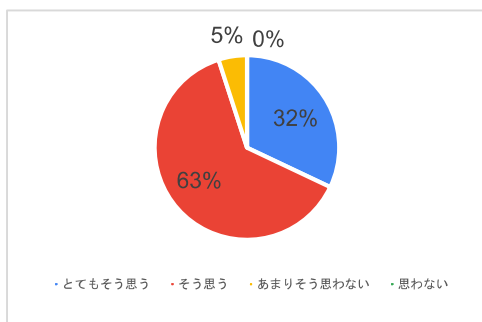
令和4年度 学校評価について

令和5年 1月 31日

1. 確かな学力

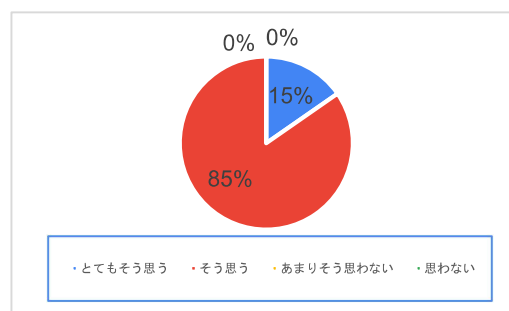
【取組】ICTを活用した有効な授業形態。思考、発信型の授業実践。
主体的で対話的な授業の実践。外国語科、英語科における少人数授業の実践。

<保護者>



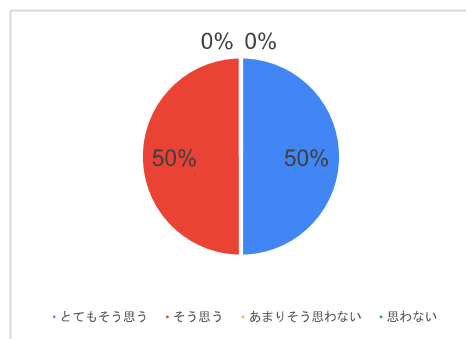
とてもそう思う	58	32%
そう思う	114	63%
あまりそう思わない	9	5%
思わない	0	0%

<教職員>



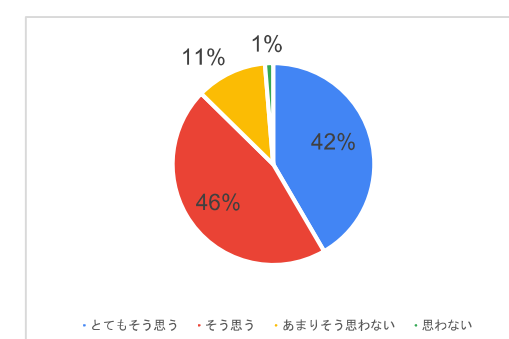
とてもそう思う	6	15%
そう思う	33	85%
あまりそう思わない	0	0%
思わない	0	0%

<維持会理事会>



とてもそう思う	9	50%
そう思う	9	50%
あまりそう思わない	0	0%
思わない	0	0%

<児童・生徒>



とてもそう思う	217	42%
そう思う	238	46%
あまりそう思わない	59	11%
思わない	7	1%

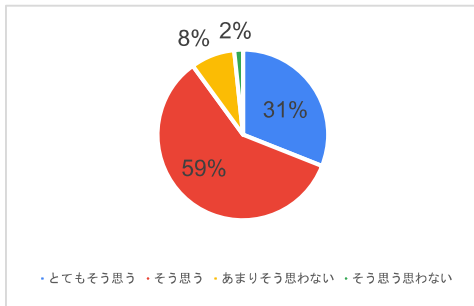
[評価を受けて]

- 全体としては、概ね良好な数字であるといえます。十分ではないと感じている児童生徒については、細やかに見取りを行い、支援することを大切にしていきます。
- 児童生徒のアンケートからは、授業中に「分からないときに、分からないといえる。」、中学生は「自分なりに考えて結論出すのが楽しい」という項目が低くなっています。今後も思考、探求型の授業実践、継続していくことで、「分からない。」と言えたり、自分なりに答えを出していけるようになっていくと考えます。これからは更に必要になってくるであろうこうした力が伸ばせるような授業実践に努めていきたいと思えます。

2. 豊かな心

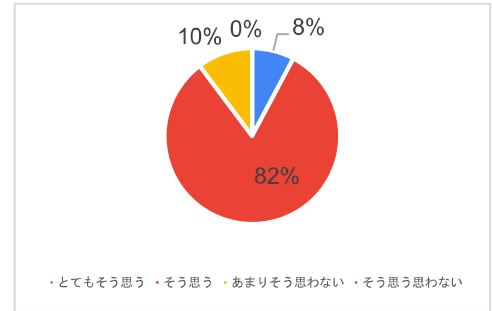
【取組】 当番・係・集会活動、気持ちのよいあいさつの習慣化、道徳科の授業の工夫

〈保護者〉



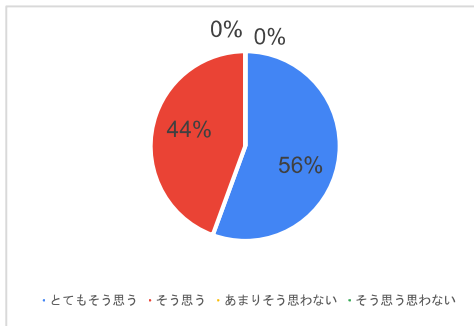
とてもそう思う	56	31%
そう思う	107	59%
あまりそう思わない	15	8%
そう思う思わない	3	2%

〈教職員〉



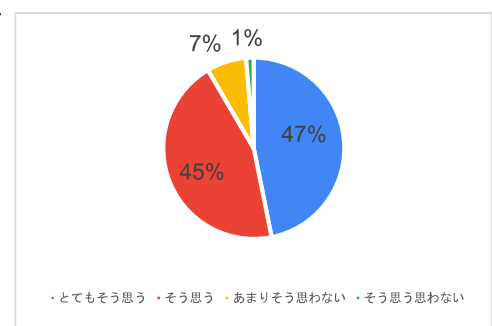
とてもそう思う	3	8%
そう思う	32	82%
あまりそう思わない	4	10%
そう思う思わない	0	0%

〈維持会理事会〉



とてもそう思う	10	56%
そう思う	8	44%
あまりそう思わない	0	0%
そう思う思わない	0	0%

〈児童・生徒〉



とてもそう思う	244	47%
そう思う	233	45%
あまりそう思わない	37	7%
そう思う思わない	7	1%

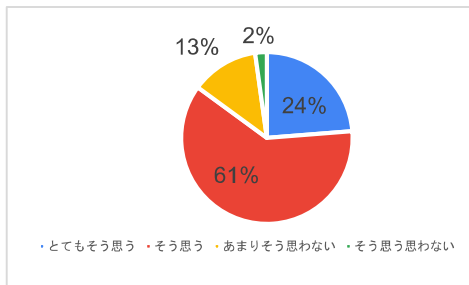
[評価を受けて]

- 豊かな心の育成については、概ね良好な数値といえます。係や当番の仕事に責任を持って取り組める児童生徒が多くいます。児童生徒の評価からは「道徳の授業を実生活で意識することが少ない。」ことが分かりました。
道徳の時間以外、または実生活の中で授業で学んだことを振り返ったり、実践したりする機会を意図的に作っていくようにします。

3. 健やかな体

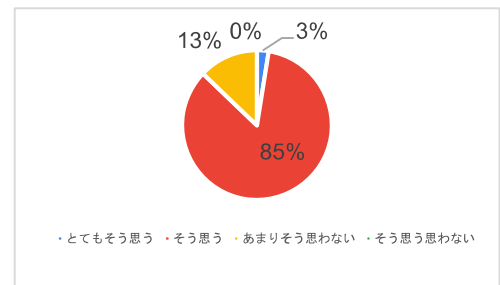
【取組】 家庭での運動（健康維持・心地よさの視点から）の勧め
怪我・感染症予防の呼びかけ。 体育の授業中の運動量の確保。

<保護者>



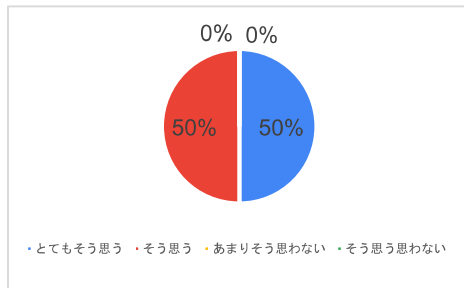
とてもそう思う	43	24%
そう思う	111	61%
あまりそう思わない	23	13%
そう思う思わない	4	2%

<教職員>



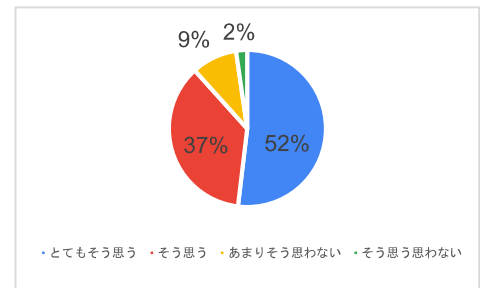
とてもそう思う	1	3%
そう思う	33	85%
あまりそう思わない	5	13%
そう思う思わない	0	0%

<維持会理事会>



とてもそう思う	9	50%
そう思う	9	50%
あまりそう思わない	0	0%
そう思う思わない	0	0%

<児童・生徒>



とてもそう思う	271	52%
そう思う	190	37%
あまりそう思わない	49	9%
そう思う思わない	12	2%

[評価を受けて]

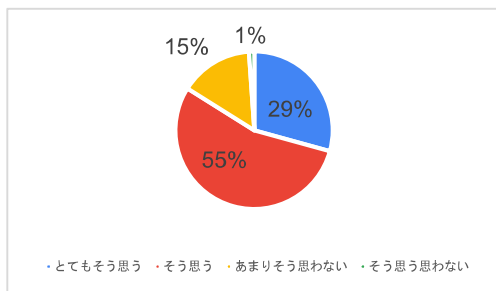
- コロナ禍で落ちた体力を取り戻すことは、学校としても重要な課題と捉えています。運動については、幼少期に様々な運動経験を積むことが大切だと言われています。学習指導要領にも多様な運動経験を積むように様々な種目が設定されていることを踏まえて授業を進めていきます。体育活動においては少しずつ運動量、運動強度を増やしなが、多様な運動経験ができるように授業形態を工夫していきます。

また児童生徒の運動量が増やせるように、他の方法（家でも使える縄跳びカードの作成など）についても検討していきます。

4. グローバル人材

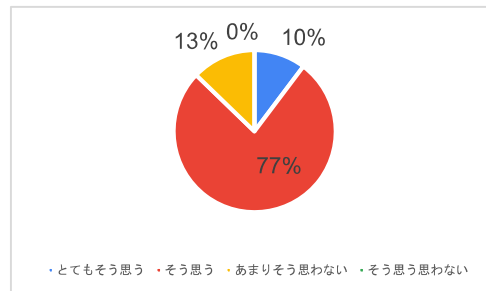
【取組】総合的な学習の時間・生活科などでのインドネシア理解や言語学習
児童生徒の習熟度に応じた英語（外国語）学習

〈保護者〉



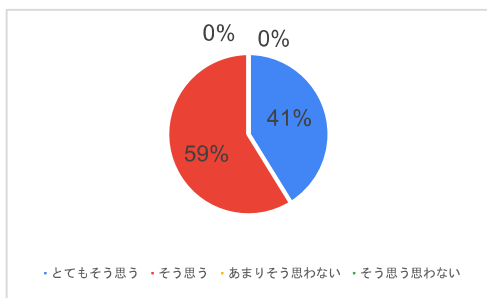
とてもそう思う	53	29%
そう思う	99	55%
あまりそう思わない	27	15%
そう思うわない	2	1%

〈教職員〉



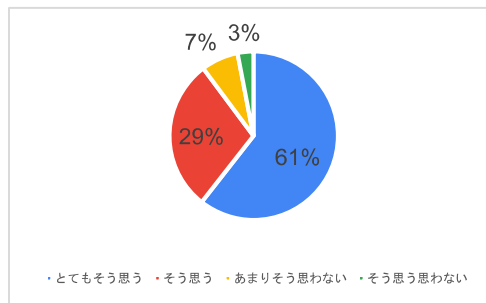
とてもそう思う	4	10%
そう思う	30	77%
あまりそう思わない	5	13%
そう思うわない	0	0%

〈維持会理事会〉



とてもそう思う	7	41%
そう思う	10	59%
あまりそう思わない	0	0%
そう思うわない	0	0%

〈児童生徒〉



とてもそう思う	316	61%
そう思う	153	29%
あまりそう思わない	37	7%
そう思うわない	16	3%

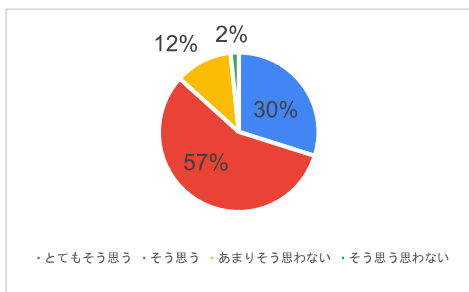
〔評価を受けて〕

- ・ ネイティブの先生の活用方法、インドネシア理解の充実、交流活動の再開が課題となっています。三カ国語を話す機会があること、またそれぞれの言語についてネイティブの先生がいることを生かせるような授業実践を研究していきます。交流事業については、コロナも落ち着いてきましたので順次、再開していきます。
- ・ しっかりと日本語教育を土台にして外国語教育を行って欲しい、行うべきだという意見も見られました。もっともなご意見です。
しっかりと母国語を大切にしていきます。自分の母国語を大切にすることが他の言語と文化を大切にすることにつながると思います。

5. 児童・生徒指導

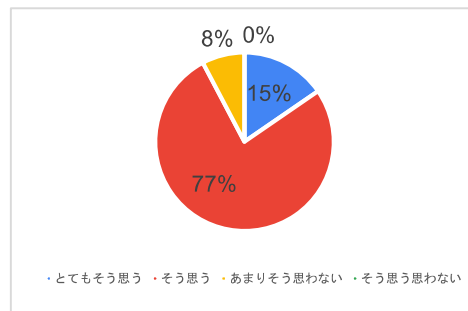
【取組】 生徒指導主事を中心とした、学校全体での児童生徒の見守り・支援
 ほととタイムアンケートを効果的に活用して、寄り添った対応をする。
 児童生徒理解・迅速で適切な対応

<保護者>



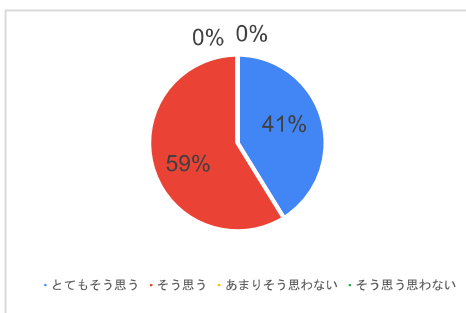
とてもそう思う	54	30%
そう思う	103	57%
あまりそう思わない	21	12%
そう思う思わない	3	2%

<教職員>



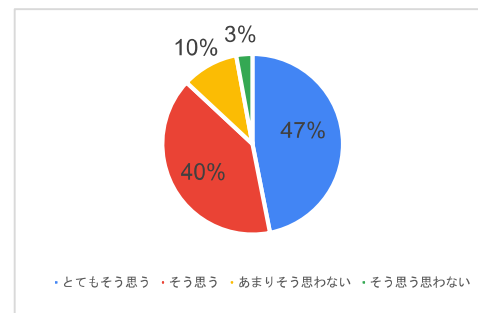
とてもそう思う	6	15%
そう思う	30	77%
あまりそう思わない	3	8%
そう思う思わない	0	0%

<維持会理事会>



とてもそう思う	7	41%
そう思う	10	59%
あまりそう思わない	0	0%
そう思う思わない	0	0%

<児童・生徒>



とてもそう思う	245	47%
そう思う	210	40%
あまりそう思わない	53	10%
そう思う思わない	15	3%

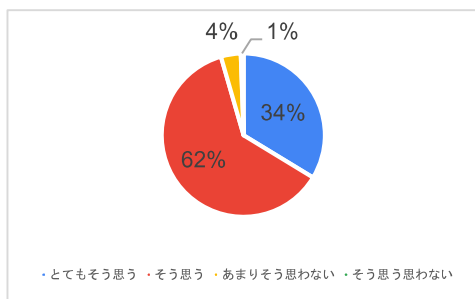
[評価を受けて]

- 児童生徒のアンケートからは、年齢が上がるにつれて「困ったことがあれば、先生に言える。」という項目の数値が低くなる傾向がありました。ホットタイムアンケート、個別面談だけでなく、日ごろの児童生徒の様子をつぶさに観察して教師側から積極的に声をかけていくようにします。また保健室の先生との密な連絡も大切にしていきます。

6. 安全指導

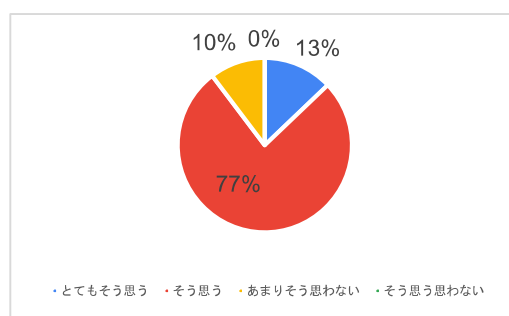
【取組】大使館やセキュリティなどと連携した避難訓練の実施 校内における感染対策の実施、設備の補修や新設

<保護者>



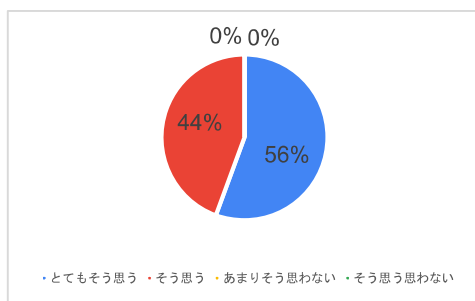
とてもそう思う	61	34%
そう思う	112	62%
あまりそう思わない	7	4%
そう思う思わない	1	1%

<教職員>



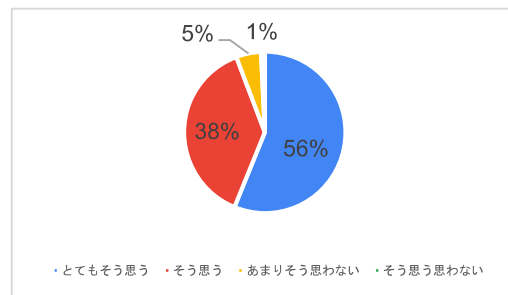
とてもそう思う	5	13%
そう思う	30	77%
あまりそう思わない	4	10%
そう思う思わない	0	0%

<維持会理事会>



とてもそう思う	10	56%
そう思う	8	44%
あまりそう思わない	0	0%
そう思う思わない	0	0%

<児童・生徒>



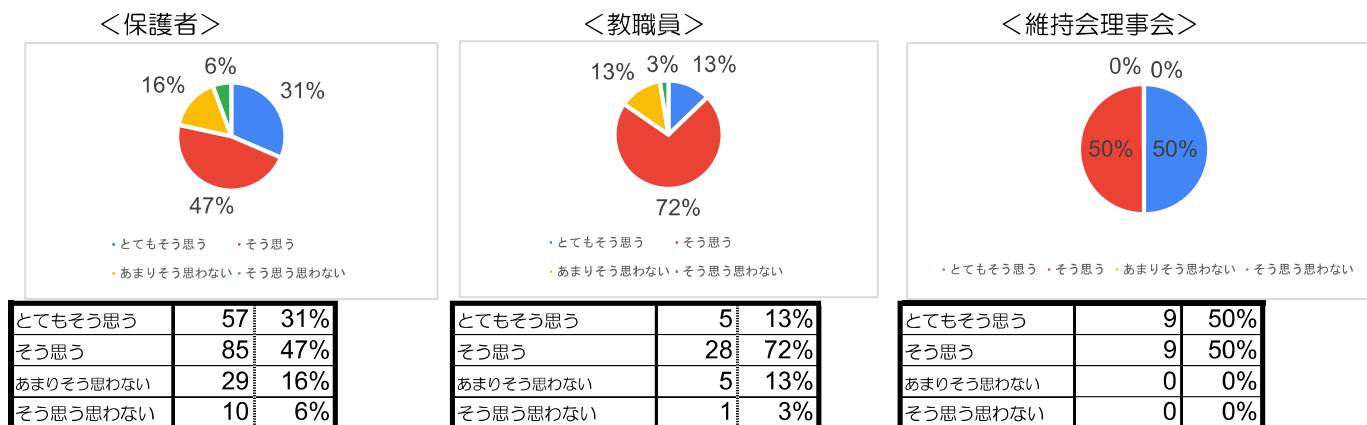
とてもそう思う	293	56%
そう思う	199	38%
あまりそう思わない	26	5%
そう思う思わない	4	1%

[評価を受けて]

- 教師の反省から「児童生徒、教師が決まった場所にはない時間帯を想定した訓練を行いたい」という意見が挙がってきました。教師がいないときでも、素早く避難できることは大切なので、来年度の計画を立てるときに考慮したいと思います。

7. 学校評価

【取組】 各種便りでの情報発信、様々な場での保護者との連携



[評価を受けて]

- ・ 情報の発信については、厳しい評価をいただきました。教職員の反省からも「情報発信は、不十分」と感じられていることが分かります。改善点としては、行事に関する細やかな日程、変更点を決まった時点でお知らせし、更に修正が加わったときは速やかに発信するようにします。
- ・ アンケートのリンク先などをキッズノートに添付された書類ではなく、本文に記載して欲しいという旨の記述がありました。確かにこうすることで、保護者の皆様が添付書類をダウンロードする手間が省けますので、これからは本文に記載するようにします。
- ・ 各行事の保護者アンケートから得られた主な意見、全体に関わる意見については、学校便り、学年便り等で、できる範囲において回答を載せるようにします。

8 その他の自由記述、主なものについて回答（これまでの行事の反省も含めて）

【その他】

- ・ コロナ対応について。コロナの対応については、インドネシア政府の規制レベルを考慮、大使館と相談しながら決めていきます。また学校の規制が他の商業施設などに比べて厳しくなることは、学校という性質上致し方ないことをご理解ください。協議したうえで緩和できるものは緩和していきます。
- ・ 学校で行えるボランティア活動を設定して欲しいという意見がありました。心遣いに感謝いたします。今後、何かの計画を立てるときに、状況によっては保護者の方の力を借りられる可能性があることを念頭に置きたいと思います。また、力を借りたいときには遠慮せずにお問い合わせしたいと思いますので、協力していただければ幸いです。
- ・ 名簿や写真などの扱いについては、個人情報が多く含まれるため一覧にして配布することはできません。
- ・ 教科書配布の遅延について心配をかけました。輸入制限の関係で、いつ頃は入ってくるかも全く分からない状況でした。「分かっていない」ことをお知らせしなかったことが、更に不安、不満を招く事態になったと感じています。今後は「分からない」「分かっていない。」等の情報も定期的にお伝えするようにします。
- ・ 日頃や行事の駐車に関しましては、セキュリティを配置、一方通行の実施など今後もできる限りの安全対策を実施していくつもりです。それでも、全ての危険を排除できるわけではありません。乗り降りの際には、「隣の車が止まっていることを確認してから降車する。」、「駐車場内を歩くときは、周りに注意して歩く。」などして安全に気を配って頂ければと思います。自家用車で来校の際は、運転手へ安全運転の徹底した指示も行っていただければ幸いです。

【体育祭について】

- 下校の際、スムーズに誘導できなかったことは教職員も課題と捉えています。今回の問題点は、引き渡し時期がはっきりしていなかったことです。来年度はバス下校の児童生徒が乗車完了するまで、ロープの外で待機、完了後、下の学年の所に保護者が迎えに行き、引き渡すようにします。
- トイレの場所が分かりづらいという意見がありました。来年度は表示を増やします。
- 来年度は縦割り活動を再開します。縦割り活動が再開されますので、体育祭のプログラムにも縦割り活動を反映させます。その活動の一つとして「応援合戦」を位置づけます。内容については、その年度の児童生徒が自分たちで立案計画したものを行っていくようにしたいと考えています。
- 色の割り振りについては、来年度は中学から小学生まで縦に割って色分けします。
- 色別Tシャツの作成については、デザインを決めるための呼びかけや募集については、お手伝いできます。それ以降の業務について学校が担うことは差し控させていただきます。
- 応援席は、一番外のコースから1.5m程度に設定するようにします。
- 集団演技時、児童生徒の写真を保護者が撮りやすくなるように、できる限りの配慮をします。例えば演技の最中に隊形移動（前後を入れ替えるなど）を行うことで、どの保護者様もある程度近くで写真を撮れるような工夫をしたいと思います。

【Jフェスについて】

- 来賓席、保護者席の位置については反省を生かして改善いたします。
- 該当学年の保護者を見分けるために特別な配慮をすることは考えていません。互いに席を譲り合うこと、自分の子供の発表が終わったら一度移動することなどの行動を促す放送はかけます。
- 行事の時にタクシーで来校した場合の導線については、他の自家用車と同じです、一度、駐車場に止めてから下車してください。タクシーは、運動場からの導線に従って学校からできるようにお願いします。
- お祭りのように外部から有名人を呼んで欲しいという意見がありました。外部から誰かを呼ぶ、何か催しのようなものをする場合も学習とつながっている必要があります。学習の延長線上に行事は設定されていますので、その時だけのイベントは学校行事は行わないことはご理解ください。授業と関連されるものが、行事では行われます。
- 発表の形、例えば合唱を分けるのか同日で行うのかなどは、学習の状況、行事のねらい、授業日数、行事に充てられる時間、そのほかの行事のと兼ね合いなどを総合的に見て判断します。どのような形で行うかは決定次第、お知らせします。

9、12月に実施した体カテストの結果について

日本の令和3年度（コロナ禍）の数値と比較。赤字は日本の平均を下回った種目。

男子

	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトル(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ボール投げ(m)	
	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本
SD1	10.07	9.24			29.62	26.39					11.55	11.33			11.02	8.43
SD2	12.05	10.74			31.17	28.61					10.73	10.55			15.49	11.08
SD3	13.07	12.73	15.62	15.73	30.92	30.34	36.56	34.95	41.14	36.45	10.38	10.07	134.33	136.77	13.44	14.74
SD4	15.23	14.39	17.10	17.98	35.13	31.78	38.29	39.43	47.69	44.27	9.81	9.59	142.97	147.73	18.55	18.47
SD5	18.32	16.90	20.28	19.94	35.96	33.37	42.00	42.83	39.96	52.45	9.38	9.24	150.20	155.86	20.44	21.75
SD6	19.60	19.77	21.76	21.65	39.17	35.78	41.07	45.86	48.89	61.16	9.28	8.84	155.67	166.33	21.57	25.43
SMP1	24.56	24.53	24.85	23.92	45.23	40.98	50.15	49.69	72.27	70.58	8.35	8.38	185.04	185.41	21.38	18.14
SMP2	28.59	30.39	23.71	27.31	41.24	44.80	47.24	53.77	69.31	86.88	7.82	7.78	183.82	203.80	22.41	21.09
SMP3	32.17	34.65	27.67	28.96	44.67	47.81	51.83	56.28	81.00	94.44	7.58	7.41	191.67	216.35	24.67	23.54

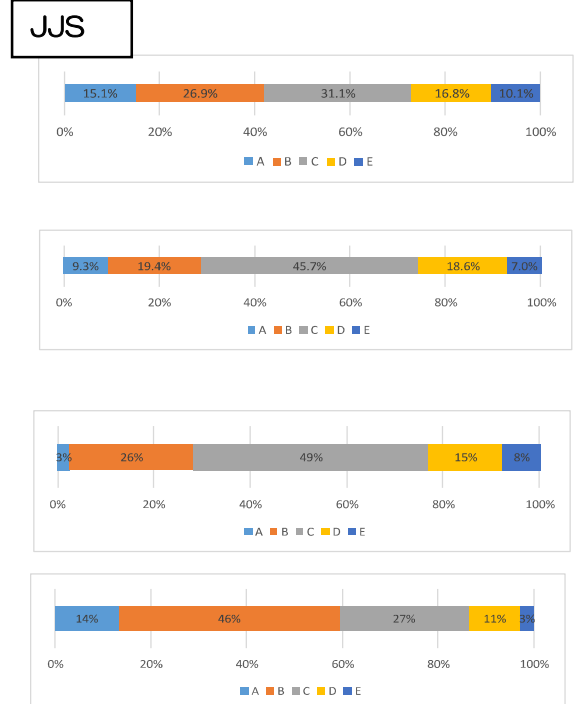
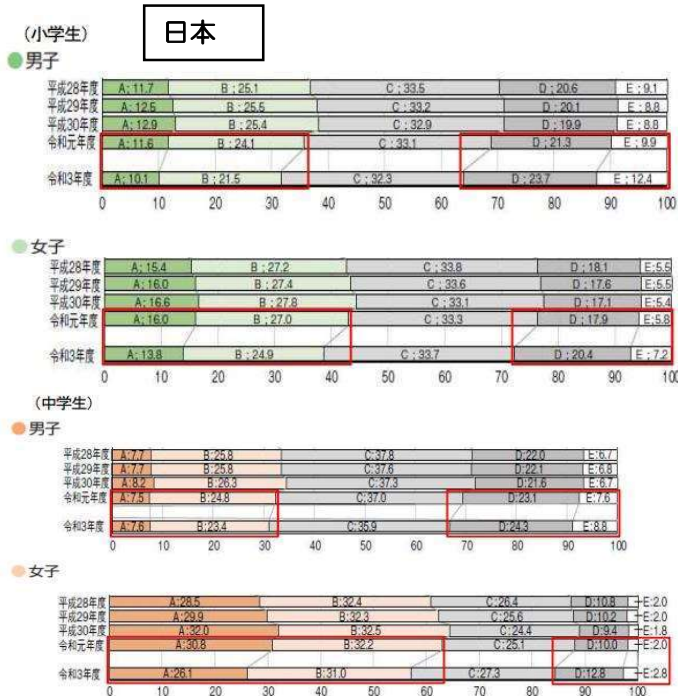
女子

	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトル(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ボール投げ(m)	
	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本	JJS	日本
SD1	9.28	8.71			34.45						12.00	11.77			6.62	5.70
SD2	11.27	10.18			36.32						10.99	10.89			10.08	7.36
SD3	13.19	11.95	14.73	15.91	32.37	33.91	33.87	33.75	29.03	29.13	10.35	10.32	121.87	130.53	8.87	9.45
SD4	14.18	13.87	16.84	17.64	37.87	35.52	34.62	37.64	36.87	35.60	10.24	9.91	132.47	141.05	10.36	11.61
SD5	17.72	16.49	17.45	18.68	41.82	37.30	38.97	41.00	37.37	42.33	9.78	9.49	140.05	148.36	12.66	13.86
SD6	18.52	19.53	18.46	19.66	38.16	40.71	38.58	43.44	33.19	47.52	9.40	9.16	147.80	155.76	12.68	15.97
SMP1	21.80	21.73	21.56	20.50	39.94	43.64	43.28	45.78	57.00	50.85	9.44	8.98	154.50	167.23	12.67	11.92
SMP2	22.55	24.19	21.21	23.23	51.40	46.65	44.20	48.31	50.50	60.46	9.43	8.66	158.00	174.40	13.93	13.35
SMP3	19.93	25.73	22.17	24.55	50.25	49.00	45.92	49.34	56.40	60.91	9.17	8.58	158.75	178.61	13.08	14.44

評価の割合の比較・体カテストは、獲得点数によって段階評価があります。評価はA,B,C,Dの4段階。

「日本の令和3年の段階評価」と本年度JJSの段階評価の比較。

赤の四角は、国内の比較です。国内の児童生徒も体力低下が読み取れます。



体カテストの結果から

- 日本の児童生徒と比べて、低学年の方が近い数値を示しています。また学年が進むにつれて、日本の平均を下回る数値が増えています。本校の実施時期が日本よりも遅いことを考慮すると、実際の平均の差は、もう少し大きいことが予想されます。
- 特に改善が必要なのは、「５０Ｍ走」「立ち幅跳び」「２０Ｍシャトルラン」です。課題を改善するためには運動の基本となる「走る」活動を多く取り入れる必要があります。また児童生徒の体力の回復具合を見て、体育の運動強度も上げる必要があります。
- 児童生徒の実態を踏まえて、どの種目もバランスよく配置して学習することが大切なことが読み取れます。

※ 様々なご意見をありがとうございました。頂いた意見を参考にしながら、来年度の学校運営を行っていきたいと思います。今後もよろしくお願いいたします。